婦人衛生雜誌

大正十年三月二十五日發行

第三百五十八號

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌

第三百五十八號目次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

カルシウム新劑
興醫社創製

ベンツカルシン

性狀 本劑はカルシウムと安息香酸との新化合物にして、無色無臭の結晶性粉末、清凉の微苦味を有し、水には容易に溶解すれども引濕性なし。即ち從來使用せられたる「クロールカルシウム」又は乳酸「カルシウム」に於ける潮解性又は遊離酸に基く不快の缺點を有せず、故に小兒も喜んで之を服用す。

作用 本劑は消化管に於て徐々に安息香酸を遊離吸收せられ氣管枝粘膜より適量に析出せらるるが故に、「カルシウム」の藥效と同時に安息香酸の作用たる防腐、興奮、祛痰、解熱の治效を奏する者とす。

適應症 (一)肺結核、氣管枝加答兒、鼻咽喉加答兒の如き呼吸器疾患。(二)肋膜炎、腹膜炎の如き滲出性疾患。(三)喀血、月經過多、血友病、「スコルブート」の如き出血性疾患。(四)蕁麻疹、丹毒、濕疹、血清病の如き皮膚疾患竝に淋巴腺腫。(五)喘息、バセドウ氏病の如き植物神經系興奮狀態。(六)其他心臟竝に血管病に用ひ、又本劑には骨形成作用あるが故に、「カリエス」或は妊婦、產婦又は齒牙發生期及び成長期の小兒に之を用ふべし。本劑は又强壯劑として各種疾患の恢復期に有效なるは勿論、其外「ヨード」、「ブローム」劑を連用するに方り其副作用を豫防する目的に賞用せらる。

用量 大人量一囘〇・五乃至二・〇　一日一・五乃至四・〇

用法 散劑とするを便とす、水藥として用ひても可なり、但し「カルシウム」鹽の一般配合禁忌たる、重曹、酒石酸、稀鹽酸、稀硫酸等と伍用せざるを可とす。

包裝 五十瓦入(壹圓參拾錢)　百瓦入(貳圓五拾錢)　五百瓦入(拾圓)

興醫社藥品部

▲一般藥品、新藥類竝に各種製劑の取次販賣をなす。
▲興醫社特製各種注射藥(アムプルレ入)
▲興醫社特製今村式改良驗糖用試藥一式

製造發賣　興醫社

東京市本鄉區西片町十番地
振替東京三二一八三番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會

設立趣意書

凡そ人として此世にありては徒に生けるのみをもて足れりとするにはあらずかならずや知識を磨き人たるの本分を盡くし幸福快樂のうちに一年を送らんことを皆ともに希はざるはあらじされども其身健康にあらざれば此生活を得んことはいと易からずこれ衛生の道の一日も忽にすべからざる所以なりとす

抑も〳〵衛生の法は一にして足らずとはいへども衣食住の改善育兒及看病法等の如きはいとも緊要の事にして皆吾等婦人のもつぱら掌るべき所其責任重しと云ふべし今や婦人の會合相尋て起り婦人社會も漸く其の面目を改めんとするは誠に喜ばしきことなりされども夫の衛生の事に至りては更に注意を惹かざるもの丶如くまことに口惜しきことなり因りて頃日同志婦人集ひ謀り一會を設け名けて私立大日本婦人衛生會といひ毎月一回集會を開き學識經驗ある人々に衛生上諸般の講義演説談話を乞ひ互に相研究し尚之を筆記して册子を編輯し會員に分ち聊か同胞の爲めに盡すあらんとす茲に本會旨趣の梗概を敍べて廣く江湖の諸愛姉に告げ其賛成を仰ふぐことしかり

明治二十年十一月　首唱者總代

私立大日本婦人衛生會規則摘要

（明治三十二年十二月改正）

第一條　目的　本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の知識を開發せしめ随て社會全般の幸福を増進するにあり●第二條　本會は私立大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く●第三條　本會會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得●第四條　入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込まるべし入會者には會員章を交付す。入會後轉居等あるときは速に事務所に報知せらるべし●第五條　會員を分ちて終身、特別及通常の三種とす、終身會員は一時に金貳拾五圓以上特別會員は一ヶ月金五拾錢以上、通常會員は一ヶ月金參拾錢を納むる者とす●第六條　男子にして本會の旨趣を賛成する者は之を賛成員とす其會費は本會員に同じ但本會に功勞ある者又は本會に於て特に賛成員たることを望みたる節は役員の會議に依り無會費とすることあるべし●第七條　會員は本會に於て發刊する雜誌を無料にて受くることを得●第八條　退會せんとする者は其旨本會事務所に報知し死亡する時は親戚知友より通知せらるべし但既納の會費は總て返戻せず●第九條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の妃殿下に願出るものとす●第十條　本會に左の役員を置く　會長一名、副會長一名、理事七名、評議員二十五名、書記若干名●第十一條　會長副會長理事評議員は隔年三月の總會に於て會員の投票を以て之を選擧し書記は理事の推薦に依り會長之を命ず但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし●第十二條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し理事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄雜務を掌る理事の分課を設け第一會計、第二編輯出版、第三庶務とす●第十三條　臨時指名委員の件●第十四條　會長副會長幹事評議員の任期は二ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺員を生ずるときは次點者を以て補缺す●第十五條　會長副會長理事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す●第十六條　集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるべし又春秋二回會員相互親睦の爲め園遊會を開くことあるべし●第十七條　毎會學識經驗ある人々に衛生上の講義演説談話を囑托し會員をして聽講せしむるものとす●第十八條　會員は家族の婦女若くは知己の婦人を本會會場に誘致し講義演説等を傍聽せしむることを得（但衣服は總て質素たるべき事）●第十九條　講義演説等は男子の傍聽を禁ず●第二十條　規則の改正其他重要の件議定のこと●第二十一條　毎年三月總會に於て會計の收支決算並に庶務の概要會員の増減等を報告すべし●第二十二條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす●第二十三條　會計の收支は總て會計擔任の理事の檢印を要するものとす●第二十四條　會計は一ヶ年毎に決算し翌年三月の總會に報告すべし

支會●二十五條　地方に於て本會會員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得●第二十六條　本會會員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載して申出べし爾後員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報告すべし本會會員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす●第二十七條　支會には支會限りの會員を置くことを得●第二十八條　本會の雜誌は支會に回送すべきを以て其實費を支會より本會に送付すべし支會限りの會員にして雜誌を請求する者に就きても亦同じ●第二十九條　支會は集會の都度其狀況を本會に報告すべし

●雜件●第三十條　本會は隔月一回雜誌を發刊し之を會員に配附すべし●第三十一條　會員又は會員外の者にして金圓若くは書籍物品等を本會に寄贈する者ある時は本會會長の名を以て謝狀を贈り寄贈者の姓名及品目を簿冊に登錄し尚本會雜誌を以て報告すべし●第三十二條　會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に返信料を添へらるべし（郵券送一割增）●第三十三條　會費は東京府下に限り毎月領收人を差出すべし地方會員は總て前金とし小爲替にて本會事務所所在の郵便局（本郷區駒込千駄木町郵便取扱所宛）振出しあるべし●第三十四條　會員中若し本會の障碍となるべき所爲ある者又は屢く會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議員會の決議を經て除名し若しくは廣告することあるべし

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地　私立大日本婦人衛生會



現代の社會と婦人の傾向

文學博士　吉田靜致

皆様も大分大きくなつて居られるから、滅多なことには泣かないでありませうが、それでも悲しくなつて來ると直ぐに泣き出す、又可笑しくなつて來るとアハ、とか、イヒ、とか、ウフ、、エヘ、、オホホ、さう云ふ風に皆様が笑ふですね、さう云ふのは叫び聲と言つて是は心の中の氣分や感情の現はれで、思想の内容、概念の内容を發表傳達する言語では決してない、此事に付て學術的に立入つてお話をすれば幾らもありますが、皆様には少し六ケしいと思ひますから是は止しまして、兎に角叫び聲と云ふものは同じく動物である以上は世界中皆同一であるのであります、日本の鼠もチウ〳〵、佛蘭西の鼠もチウ〳〵、亞米利加の鼠もチウ〳〵其代り猫は世界中何處へ行つても皆ニャ〳〵、決してチウ〳〵と云ふ猫は居らぬ、卽ち是は叫び聲なる一つの證據であります、故に人間の叫び聲だけならば何處へ行つても違ない、日本人もアハ、であり、亞米利加人もアハハである、けれども言語になれば非常に違ひます、違つた國、違つた地方、違つた文明が行はれて居る處に依つて、それ〳〵違つた歷史を有つて段々發達して來て居る、だから言語は地方的に違ふと云ふことになるので、其處に日本語があり獨逸語があり支那語があると云ふ風にそれ〳〵違つて居るのであります、同じ日本でも地方に依つて大變違ひますが、鹿兒島人の言葉と青森人の言葉とは非常な相違であります、皆様の中にもそれらの國の人があるでせう

が、其國の言葉でお話になつたら迚も吾々に分らぬことが多いだらうと思ふ、初めて聞くとどうしても諒解の出來ない言葉が澤山あるに違ひない、さう云ふ風に言語と云ふものは決して世界的でありませぬ、それ〳〵違ふ、之に依つても人間には叫び聲もあるが、其叫び聲の外に言語を有つて居ると云ふ立派な證據で、外の動物には言語はない、唯叫び聲があるだけである、そこで言語が人間にだけあると云ふ其事が、人間を外の動物から非常に違ふ所の特別の者にして居る一つの特色であります、若し言語がなかつたとしまするならば吾々の知識と云ふものは決して今日程進んで居る筈はない、外の動物を考へて見ると分りますが、外の動物は生れてから死ぬ迄其動物が自分が直接に經驗したことより外に知識を養ふと云ふことが出來ない、併し人間はさうでない、言語と云ふものがあるから書物も拵へる、演説もする、又昔の人の考へたことを段々學び之を己れの知識にすると云ふことが出來るが、若し言語がないならさう云ふことが出來ませぬから、自分一人で經驗することより外に自分の知識を養ふ途はない、さうして折角其知識を得ましても言語がなかつたならばそれを外の者に傳へることが出來ないので、如何に立派な知識を有つて居る者も死んで仕舞へばそれと同時に其立派な知識も當然死んで仕舞ふ譯であります、又其次の人間も自分が生れてから死ぬ迄自分だけで經驗して自分の知識を養ふ外に途はないのであります、決して今迄の人類が段々導いて來た所の大きな文明を、之を自分のものにするなどゝ云ふことは到底出來ない、言語と云ふものがあるに依つて初めてそれが出來る、言語と云ふものは實に貴いと云ふことが是でお分りになると思ひます。

それで能く私が此事を話します時に一の例を引合に出す、猿と云ふ動物は餘程利巧で人間に近いと云はれて居りますが、猿の例にすればそんな猿が實際居るかどうか知りませぬが、理論の爲にするのでありますが、或猿が或時に林檎が樹から落ちるのを見

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、ニユートンと同じやうに是は引力の然らしむる所だと云ふ大發見をしたと云ふことである、地球と林檎とは互に引合ふ、其處に林檎が落ちたと云ふことを猿が發見したと假定致しませう、扨て是は猿としては大發見であるが故に嬉しくて堪らぬから何か其時に叫び聲を出したに相違ない、何とか言つたに相違ない、けれども言語を有つて居りませぬから、吾れ引力の大法則を發見せりと云ふことを外部に發表することが出來ない、唯喜びの叫び聲を出して居るに過ぎない、又同じ猿の仲間がそれを見てあの猿は何か喜んで居ると云ふことだけは分る、大方林檎を一つ食つて喜んだのか、或は是から食はうと思つて居るのか位は外の猿も經驗上想像が付くが、引力の大法則を發見したと云ふことは到底分ることが出來ない、外の猿が引力の大法則を知る時は其猿が自分自身で經驗して氣が付く時でなければ其猿に知識が生じない譯である、是は言語がないから勢ひさうならざるを得ない、若し言語があつて御覽なさい、其引力の大法則を發見した猿が一段と高い處に居つて、吾は林檎の樹から落ちるのを見たがあれは地球と林檎とが引合ふと云ふことから來たのだと演說するかも知れない、さうすると外の猿は甚だ尤もだ、大いに研究を要すると云ふことになつて其後益〻研究し又其結果を普及することになれば、若しさう云ふことがあるとすれば必ず世界の何處かの猿社會には立派な知識を備へた猿が居らなければならぬ筈であるが、今日何處を搜してもそんな猿は居ない、矢張り世界中の猿は皆孰れも同じやうな狀態にある、是は確かに言語と云ふ貴いものを有つて居らない證據であります、然るに人間はどうであるか、ニユートン一度び引力の大法則を發見して之を演說に或は著述を通じて人類社會に其知識を擴めた、今日の吾吾は自分自ら引力の法則を發見しないけれども、それが吾々の知識となつて居るのは何故であるか、それは言語と云ふものがあつて、それに依つて思想概念の内容を發表傳達すると云ふことがあればこそで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あります、さう云ふことが人間にあるのです、人間以外の者には叫び聲はあるけれども言語と云ふものがない、そこが人間と他の動物との異なる點であります、それだから皆樣、耳の聽えない人や目の見えない人、文字を讀むことが出來ない人や喋舌ることの出來ない人の如きは實に氣の毒であると云ふことを同情しなければならぬ、あゝ云ふ人達は大切なる人類の知識を自分のものにすると云ふことが人並に出來て居らない、實に氣の毒であるのです。

兎に角さう云ふ風に、言語と言ふても詳しく申せば三通りある、即ち喋舌る言語、書いた言語、是は書物の如きもの、もう一つは身振言語と云ふものがある、大體に於て耳と目と口とが主なる働きをしますが、其他體の運動に依つて思想の內容を發表傳達すると云ふ、是は矢張り言語であります、例へば斯う云ふ風に手を動かすと云ふと毆るぞと云ふ意味になつて即ち身振言語に屬するのであります、要するに是等の言語を以て思想の內容、概念の內容を發表傳達すると云ふ働きは人間の一大特色で、此爲に吾吾の知識と云ふものは――吾々の思想と云ふものは自分獨りだけで拵へたものでないと云ふことが分る、是は人類が作つてくれた思想である、私の心の內容は私一人だけの內容でありませぬ、人類の內容であつて是は社會的に作られたものであります、從つて書物などを拵へた時に自分の名だけを書いて何某著と云ふのは實は僞なんです、自分獨りで拵へたものと思つたらそれは大變な間違である、今迄の色色の人々の思想が基となつて、それが影響し感化して終ひに已れのものゝ如くなつて現はれて來たとも言ふべきである、だから若し著者の名を書かなければならぬと云ふならば、古今東西の名高い思想家の名を端から書き列べて、さうして一番終ひの處に自分の名を小さく書いて置いたら宜からうと思ふ、さう云ふ風に諒解しなければ僞であります、決して自分の心、自分だけのものでない、是は實に社會的に或は人類的に製造されたのであります、然るに言語

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を有つて居らない所の他の動物は初から一匹的、個體的であります、一つだけのものであります、けれども人間はさうでない、人間の心と云ふものは是は決して自分だけの心が思つたと云ふことを言はれるものでない、此點も詳しくお話すると是亦なか〱六ケしいので、哲學上の大問題になつて來るので若い方々には六ケしいから省くことに致しますが、兎に角吾々の心と云ふものは體が互に離れて居るが如くに離れて居るものでないと云ふことを茲に申しませう、成程人間の體は離れて居ります、私と云ひ、皆樣と云ひ、甲と云ひ乙と云ふやうに、それ〱個個別々ではあるけれども——體はさうだが靈の生活、精神の生活は元來同一體即ち一つのものである、本來吾々には同一の何と云ひますか、六ケしいことになつて參りますがまア六ケしい字も時には宜いです、分ることもあれば分らない所もあると云ふことで進んで行きませう、それは普遍と云ふことであります、吾々の心は同一の普遍體、精神生活と云ふものは總て同一のものである、それを普遍と云ふ名前で現はしますが、さう云ふ普遍と云ふものを吾吾は心の底に有つて居る、各人皆普遍を有つて居る、其本來備つて居る所の同一體である所の精神生活が、今言つた言葉と云ふものを以てお互に思想を發表し傳達する間に、段々それが潛んで居つたものが引出されて來るやうに元來備つて居る所の同一の普遍が現はれて來るのであります、例へて申せば吾々の心の奥底にはイロハ四十八文字と云ふものが皆閉ぢ籠められて居る、然るに或人はニと言ひ、又或人はセとかスとかキヨウとか言ふことが出來る、其發音だけを見ると如何にも違つて居るけれども實はイロハ四十八文字は皆備つて居る譯で、多少の相違はあるにしても皆本來は同一體のものである、さう云ふやうな譯で心には同一の普遍即ち總てのものが皆包藏されて居る、擧つて居る、其擧つて居る所の心が言語と云ふものに依つて、お互に思想を發表し傳達しつゝある間に磨き合つて同一の普遍のものが段

段現はれて來るのであります、例へば今日の如き講演會其他色々の機會に於てさう云ふことが行はれる、學校の教育の如きは此點から言へば洵に重要な仕事と云ふべきものであります、さう云ふやうな譯で體の互に離れて居るやうに心は離れて居るものではない、此點を是非とも心得なければなりませぬ。

従つて外の動物になくして人間にだけある同情と云ふこと、是が即ち人間の一つの特徴であります、他人の悲しみは即ち己れの悲しみであり他人の喜び即ち己れの喜びである、こんなことは外の物には決してない、即ち此間もお話したことであるが、隣りの犬が病氣して死んださうだ實にどうも哀悼の情に堪へないと言ふて居る犬は何處にもありませぬ、尤も犬の社會には言語がありませぬから隣りの犬が病氣で死んだと云ふことを聞くことが出來ない、又どうも同情に堪へないと言ふことも出來ない、大方死んだのだらうとは思ふだらうが兎に角言語と云ふものがないからどうしても哀悼の情に堪へないと云ふことが言へない、けれども人間になれば假令自分の知らない人であつても、悲慘の境遇に陷つて居ることを聞いたならば己れの悲しみとして之を衷心悲しむのであります、若し之を悲しまない者があるとすれば、それは其人の人間性が一時引込んで居るだけの話である、一時動物性が跋扈して居ると云ふだけの話で本當に人間性が現はれて來れば、他人の悲しみ即ち己れの悲しみ他人の喜び即ち己れの喜びと云ふことにならずに居らぬ、其處が即ち人間である、決して吾々の體が離れて居る如く心が離れて居る譯でないのであります、それから此事をお話する時にいつも例に出しますが、腹の減つた親子の者を考へて見ると分る、腹が減つて親子共に將に餓死しなければならぬと云ふやうな苦しみに陷つて居るとする、其時に僅かな食物が手に入つて、若しそれを單なる動物の親子と考へるならばそれは食べた方が確かに愉快に相違ない、是程愉快なことはないのだが、若し精神生活を備へて居る人間である所の親である

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とするならば、假令自分が食べないでも子供にそれを食べさせて其親が滿足して居る、精神が喜んで居る、さうすると親の心と云ふものゝ中に既に子供の生活と云ふことを心配して居ると云ふ是は證據である、體が離れて居る如く心も離れて居るものならば決してそんな筈はない、即ち子供が喜んで居る有樣を見て親も共に喜ぶと云ふのは、其精神生活上に於て確かに離れて居らないと云ふ證據である、子供とても……子供はさうでないさうです、親などをそつち除けにして自分が先に食べると云ふのが多いやうだが、併し其子供でも能く考へてごらんなさい、深夜人定つた時に能く考へてごらんなさい、矢張り親の先に食べたことが惡かつたと云ふことが分るでありませう、動物性が跋扈して居る時にはさうはいかないが、一旦人間性が現はれて來ると矢張り親に先に食べさせることが即ち精神上の滿足と云ふことになる、是は親子の關係に付てゞあるが、斯う云ふことは夫婦に付ても、兄弟姉妹の關係に付ても、友人に付ても、師弟の間柄に付ても、總て一般人類の關係に於て皆さうなつて居る筈なんです、何處迄もさうなるべき筈である、兎に角精神の生活に付ては同一體と云ふことが、是が即ち人間の特色であります、人間の體は個々別々の姿に於て現はれて居るけれども、其實際に於ては本來同一のものであるのであります。

六ケしいことを伺ひました序手にもう一つ六ケしい言葉を更に列べて使ふと、斯う云ふ六ケしい言葉がある、それは特殊――個々別々と云ふことであります、體の方から言へば別々個々の姿の者ではあるが、其心の本質を調べれば實は同一の普遍である、斯う云ふまア六ケしいことになる、お若い方々には少し六ケし過ぎるかも知れぬ、特殊と云ふ姿のものではあるが其本體が同一の普遍である、さう云ふことになる、もう一つ六ケしいことを言つた序手に言はせて貰へば、又六ケしくないことも言ひますが……序手に言へば斯う云ふことになる、特殊化された

る普遍――特殊の姿別々個々の姿に現はれて居るのが普遍なんだから、即ち人間と云ふ者は特殊化されたる普遍と云ふことが出來る、其本體は普遍であるが、それが特殊個々の別々の姿に於て現はれて居ると云ふのが是が人間の人間たる一大特色なんである、是さへ分れば人間に關する困難問題は片ッ端から解決が出來る、人間だけですよ、姿は個々別々であるが其本物は同一の總て普遍體である、此水呑は是は唯の特殊である、洋杯は唯洋杯と云ふ一つだけの單なる特殊と云ふものである、所が人間はさうでない、體は成程個々別々、私と云ひ皆樣と云ひ甲と云ひ乙と云ふ特殊ではあるが、實は其本體は根本に遡つて見ると云ふと皆同一の普遍である、大變な違である、そこで私は此單なる特殊と云ふ言葉に關して私は斯う云ふ言葉を使つて居る、それは特殊即普遍と云ふ言葉である、特殊即ち個々別々のものであるがそれが直樣同一の普遍である、同一のものであると云ふ意味で特殊即普遍と云ふ言葉を私は使つて居る、差別即平等と云ふのと同じ理窟であつて、別別の者だが同じである、特殊の者だが普遍であると云ふことになる、人間以外の事物は唯特殊であつて水呑は何處迄も水呑、洋杯は洋杯、椅子は椅子、テーブルは矢張りテーブルと云ふだけだが、人間は私は私、貴方は貴方、甲は甲、乙は乙と云ふ限でない、さう云ふ差別はあるが其根柢は其本質は同じ精神生活として同一體であると云ふ、是が分れば人間の意義が分つたことになります、所がなか〳〵分らないかも知れない、隨分六ケしいものだ、迚も私達には分りやしないと云ふことだけでも分れば餘程分つたことになる、自分が是は餘程六ケしい、分り難いものだと云ふことさへ分れば餘程偉いのであります、所が今日の世の中がどう云ふ風な傾きになつて居るか、現代の風潮はどうなつて居るかと云ふと、其本來同一體の者であると云ふことを忘れると云ふやうな狀態になつて居る、言換へれば、單なる特殊主義と假に言ひます、是が蔓り過ぎて居る、皆樣に對し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て經濟政策のお話は或は不適當かも知れませぬけれども西洋邊りで今日世界の八釜しい問題となつて居る經濟政策上の六ケしい言葉を使つて言ふならば、有産階級の者は其有産階級の者だけを本位として唯自分だけの利益、唯自分だけの經濟上の利益と云ふ、自分本位と云ふ立場で唯利益一點張の生活を爲す、外の者とは全然沒交渉、本來同一體と云ふ考を少しも有つて居らないで自己中心的の生活を爲さうとする、それが恰度水呑が唯水呑、テーブルが唯テーブルだけで宜しいと云ふやうな意味であるから、さう云ふのは卽ち單なる特殊主義と言うて間違つた生活方法であると言つて宜しいのである、さうすると今度は之に反對しまして無産階級の人達は其無産階級だけを本位として、自分だけを中心と考へまして而も物質的經濟的の利益ばかりを基として有産階級者を恰も敵の如く考へて、彼を倒して吾が立たうと云ふやうな態度を執つて八釜しい議論をし出した、是は矢張り間違つて居る、自分は自分、洋杯は洋杯と云ふ譯で向ふ構はずに自分だけを中心とした運動であるから、是も單なる特殊主義と云ふ間違に陷つて居るのであります、有産階級も無産階級も其精神生活の點に於ては同一體の者であると云ふ其根本を忘れて仕舞つて互に自分の利益だけを考へて、恰度獸と同じやうな考を抱くとは何事であらうか、けれども今日さう云ふやうに他を敵とし己れを本位――自己中心と云ふやうな單なる特殊主義が行はれて居ると云ふのは卽ち慨嘆すべき現在社會の弊害である、此弊害を救ふには元來人間が同一體の性質の者であると云ふことを知るのが必要である、さうすると互に違つた姿に於て現はれて居るが實は同一體である、特殊の姿を備へて居るけれども同じ普遍である、特殊卽普遍と云ふものだ、さう云ふことが分れば今のやうな忌はしい運動が起らない筈であります、そこで私は單なる特殊主義と云ふことに對して特殊卽普遍主義と云ふのを私は唱へて居る、斯うならなければ僞である、詰り同一體主義と云ふことである、

總ての本質に於ては離れた者でなくして同一體主義である、同一體であると云ふこと、是が卽ち人間の人間たる大事な要件であります。

さうしてさう云ふ同一體主義は尊嚴なる我日本の國家の如き處に於ては、能く之を發揮し實現する事が出來る譯なのです、日本の如きは實に古來同一體的生活を爲て來て居る、同一體的生活と云ふのが日本民族の是が其特色を爲して居る筈である、さうでないやうになつて來たのはそれは間違つたのであります、本來日本民族は自分の心と國家の心と同じ心になると云ふ、さう云ふ日本に於ては今申上げたやうな同一體主義、私の言葉で言へば特殊卽普遍主義が最も能く行はれなければならぬ筈であります、兎に角同一體主義と云ふことが必要である、是は一個人的に付てばかりではありませぬ、團體に付ても同樣なことでなくてはなりませぬ、銀行の金は唯銀行だけの金だと思つたら大變の間違である、會社も唯會社だけの會社だと思つたら大變間違である、家でもさうである、家は家だけの生活さへ宜ければ他の全體の社會はどうなつたことであつても構はぬと云ふのはそれは間違つたことである、國家もさうである、唯國家の爲だけを考へて世界人類にどんな迷惑があつても構はぬと云ふことならば、是は亦間違つた國家である、何處までも家と云ふ特殊な特別の姿のものであつてもそれは矢張り他の人類と同一體のものである、其同一體のものが斯る特別の姿に於て現はれて居ると云ふことを忘れてはならぬ、日本ならば日本と云ふ特別の歴史ある所の、特別の境遇事情の所に現はれた國家ではあるが、是は實に同一の普遍と云ふ精神生活が斯る特別なる姿を以て茲に活躍して居るものだと云ふ其根柢を忘れてはならぬ、國家は唯其國家だけの爲と云ふことになると、戰前及戰爭中に於て間違つた態度を執つた獨逸のやうに道德を無視する如き間違つた態度を執るやうになる、何も獨逸だけが惡いとは言はないが特に獨逸が最も著しく其缺點を暴露して居つたのであります。

兎に角唯其國だけの國、唯家だけの家、其銀行だけの銀行、其會社だけの會社、己れの金は己れだけのものと云ふ考ではならぬ、己れの生活は其根柢に於て同一體である、精神生活として矢張り同一の普遍を有して居るのであると云ふことを考へて居らないと、其處に考へ違が起るのであります、何處迄も六ケしい言葉であるが特殊即普遍主義と云ふことを忘れてはならぬ。

そこで是は昨年の暮或會合の席上でお話したことであるから、皆様の中に御承知のお方があるかも知れませぬが、昨年の夏私が汽車で旅行する時經驗して非常に情なく思つたことが一つある、それは昨年の八月の初め頃でありますが、青森の方に旅行をすると云ふので上野驛から汽車に乘つたのであります、恰度其時に同じ汽車に乘込んで參つた十名ばかりの或家庭がありました、其家庭は中流以上の家庭と私は想像するのであります、兩親と子供六人ばかり、それに女中が二人ばかりで洵に羨しい程和氣靄靄たる團欒生活を作して居るのであります、それが私は甚だ羨しかつたのであります、親は子供の爲に子供は親の爲に兄弟は姉妹の爲に姉妹は兄弟の爲に、主人は召使の爲に召使は主人の爲にと云ふ譯で、なか〳〵自分の事なんか扠て措いて他の家族の爲に盡し合ふと云ふ洵に平和な家庭であります、それから其中に十五六位の實に綺麗な、淸らかなお孃さんが居りました、是も私の羨しく思つた一つであります、段々汽車が進んで參りましてどの邊でありましたかお菓子を食ひ始めた、十人程の者が盛に食ひ始めて其處ら一面に不愉快なものを散らしますので、外の者は頗る迷惑を感じたのであります、而も其人達は一向平氣であります、又暫く進んで參ると今度はバナヽを食ひ始めた、是亦盛に食ひ始めたのであります、十人の人達が盛にバナヽを食ひ始めて其皮が附近一面に散らされたのであります、それが爲に外の者は非常に不愉快を覺えた、頗る外の者は迷惑を感じたのであります、それのみならず到頭

新しく這入つて來た人が其バナヽの皮を蹈んだ爲に辷つて轉んで仕舞つた、さう云ふ風に外の者は迷惑を感じたのであります、そこで深く私は考へた、どうも此家はまだ本當の家でない、まだ本物でない、成程家と云ふ範圍だけでは洵に整つた和氣靄々たるものであるが、まだ是は精神生活の根本義の上に立つて居る家でないと思つたのであります、併し世間竝に言へば此家なんかは結構な家なんです、何故なれば世間には夫婦喧嘩をして居る家もある、或は親子喧嘩をして居る家がある、或は主人が召使と衝突して居るやうな家もある、さう云ふ家と比較したならば成程洵に能く整つて居る家と云ふことが出來るのでありませう、普通の意味では結構な家ではあるけれども、人間の生活として人類の同一の普遍を備へて居ると云ふ精神生活の根本義から考へると、まだまだ是は本物でない、外の人に迷惑を及ぼすと云ふやうな態度で生活をして居るならば、家其物の範圍内だけでは幸福であつても、まだ是は理想としては認めることが出來ない、斯う思つたのであります、恰度其時に靑森に參ります目的と云ふのも、今お話したやうな趣意を他の方面から一つ述べて見やうと云ふ目的であつたから特にそんなことが氣付いたのであるかも知れませぬが、さう云ふことが私の目に這入つたのであります、軈て夜になりました、さうすると實に情けないことが一つ起つたのであります、先程申しました十五六とも思はれる洵に淸らかな、實に綺麗な蟲も殺さぬと云ふやうな恰も天の使ヱンゼルとも云ふべきお孃さんが盛に兄弟連を唆かして歩いて、早く今の中に足を延ばせ、構はぬからウンと延ばせ、是以上延びないだけ延ばせと云ふことを言つて兄弟連を唆かして歩くのであります、其言葉に從つて五六人の子供がウンと足を延ばした、其爲に吾々が段々押除けられて頗る迷惑を感じたのでありますけれどもそれを見てる居所の兩親は一向構はない、構はないのみか恰も我意を得たと云ふやうに默つてそれを見て居る、私は此事を見

て實に殘念に思つた、天の使とも言ふべき者の口から惡魔の聲を聞いたと云ふことは返すぐも實に殘念だと思つたのであります、さう云ふ態度は是は決して精神生活の根本義からは來ない筈であります、兎に角其家は家と云ふ範圍内だけに於ては是程迄に統一調和のある和氣藹々たる團體である、團欒生活が出來て居ると云ふことが言へる、親は子の爲に子は親の爲に、兄弟は姉妹の爲に姉妹は兄弟の爲に、主人は召使の爲に召使は主人の爲にと云ふやうに、己れを忘れてやると云ふことは家と云ふ範圍内だけでは同一體的である、特殊卽普遍的の精神生活があればこそである、併ながら唯是だけではまだ本當の精神生活を備へた家とは言へない、本當に自覺したならば——成程精神生活と云ふものは本來同一體のものだ、同じものであると云ふことが分つて來れば同時に他人に迷惑を及ぼすと云ふことが精神生活に矛盾する譯であると云ふことが必ず分るのであります、さうして見ると其樣に外の者に迷惑を及ぼす所の家は、實に本當の家と云ふ生活と自家撞著の態度を執つたものだと言はなければならぬ、それで私は甚だ情けないことだと思つたのであります。

皆樣も御承知の如く我日本の主義は家主義だと言はれて居る、家族主義、日本には家族制度と云ふものが古來行はれて來たのであります、其家主義、家族制度なるものゝ意味が今汽車の中で出會うたやうな、さう云ふ意味の家主義でありませうか、決してさうでない、日本にある所に家主義、家族主義は精神生活の根本義に基いて居る所の、卽ち私の言葉で言ふならば特殊卽普遍主義の意味を有つて居るものでなければならぬ、然るにそれが近來色々の惑はしいやうなものになりまして、どうやら單なる特殊主義と云ふやうなものになる傾向がある、今私が汽車の中で見た家は單なる特殊主義、自己中心的の家であります、單なる特殊主義、一人に付て言へば自利主義、是は甚だ宜しくない、國家もさうなつてはなりませぬ、何處迄も人類としては普遍一體である、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

普遍と云ふものを其命として、それが日本の特別の事情に於て特殊の姿になつて現はれて居ると云ふことを忘れてはならぬ、道德上の基礎を外れてはなりませぬ、是が即ち日本の古來の家主義の精神であります、此精神生活の根本義を忘れてはならない、明治天皇の御製の中にあります「四方の海皆はらからとおもふ世になどなみ風のたちさはぐらむ」と云ふことを吾々は守らなければなりませぬ、決して今汽車の中で見た家族のやうな考を有つて居てはならぬ、家と家と對する場合でも、一個人と一個人と對する場合でも、亦國と國と相對する場合でも其命と云ふものは普遍なのだ、其普遍が唯吾と云ふ姿に於て現はれて居る、我國と云ふ姿に於て現はれて居る、或は他の國と云ふ姿に於て現はれて居るのだ、斯う思はなければ僞であります、けれどもさう言うた所でそれだから一體戰爭などしてはならないものだと云ふ、さう云ふことを言ふのでない、何處迄も同胞と云ふことを前提としなければならないけれども、時としては戰ふことも必要であります、併ながら假令其場合とても決して相手を憎むと云ふやうな心を本にしてはなりませぬ、若し今言ひましたやうな特殊即普遍主義の態度で精神生活的に正々堂々として進んで行くのに、若しそれを妨げる者があれば是は敵として何處迄も戰はなければならぬのである、又明かに精神生活の根本義に背くやうな心が相手の國家にあるならば敵として大いに戰ふ必要があるのであります、そこで其點に付て少し私の意見を附け加へて申せば、今言つたやうな精神生活、道德主義の根本に基いて生活をする者を妨げるやうな者は是は人間の生活として間違つた者である、又明かに精神生活、道德主義に背くやうなことをするならば是も人間の生活として間違つた者である、人間の人間たる働きの出來ない所の實に憐れな者であります、さう云ふ憐れな者は救はなければならぬ、實に氣の毒な者であると云ふ考を有たなければならぬ、決して憎んではなりませぬ、人間の人間らしい活動をする

ことが出來ない者は實に憐れな者だ、氣の毒な者だ、是は何とかして正しい人間の道に立たせるやうにしなければならぬ、救うてやらなければならぬと云ふことを根柢に置かなければならぬ、けれども此氣の毒な者を救ふと云ふことに付ては或種の亂暴を加へる必要がある、極く卑近な喩を申すならば、激流に陷つて將に溺れむとする人があると假定する、さうすると是は實に氣の毒である、實に憐れである、其人を救ふ時には一體どうして之を救ひますか、撫でたり擦つたりして居つては迚も助けられない、髻を引掴んでそれを引摺り上げなければ、或は繩で縛ると云ふやうな、さう云ふ種類の亂暴を加へなければ其激流に溺れむとして居る人を救ふことが出來ませぬ、是は已むを得ざる亂暴であります、決して是は憎むが爲の亂暴ではない、實に氣の毒だ、憐れである、だから之を救ふと云ふ其心から來ての亂暴であるならば一向差支へない、戰爭をするにしてもさう云ふ意味で戰爭をしなければ僞であります、日本もそれ位の精神に基いて戰爭をして貰ひたい、若し間違つた態度を執つた國家があつたならば之を救ふと云ふ意味に於て今言つたやうな亂暴を加へる、其意味の戰爭なら如何に戰爭をして居つても決して之を憎むと云ふやうな、そんな動物的の心は微塵も起らない、決して憎むのでない、救ふと云ふ心が根柢になつて居る、それを考へなければ僞であります、明治天皇陛下の御製に斯う云ふことがあります「國の爲仇なすあだはくだくともいつくしむべきこころな忘れそ」斯う云ふ御製があるではありませぬか、此精神生活の根本に基いてこそ初めて本當に立派な國家の態度と云ふことが出來るのであります、決して我國は我國だけの國ではない、精神生活の爲の國であると云ふ大なる自覺を起さなければならぬ、何處迄も特殊卽普遍主義と云ふことでなければならぬ、さうして必要があるならば大いに戰爭もやらなければならぬ、其大な理想を實現するに付ては先以て實力が必要であります、何處迄もやらなければならぬけれど

も唯戰爭に勝たむが爲に力を養ふのでない、今の陛下のお心お諭しを全うするが爲の力である、精神生活の所以の物質の力であると云ふことを忘れてはならぬ、若し私が汽車で出會うたやうな家の態度を國家が執るならば、是は陛下の御志に背く所以であり且又精神生活の根本から見て間違つて居ると私は確信して居る、要するに吾々の心と云ふものは決して互に離れたものでない、己れの爲ばかりのものでない、或は團體にしても銀行會社にしても唯それだけの爲のものでない、實に古今東西人類と云ふ者の其本質に於て同一體のものである、普遍を命として居るものであると云ふことを忘れてはなりませぬ、人類的の精神と云ふものを本にして、さうしてそれが國家なり家なり或は一個人と云ふものゝ獨立の姿の上に現はれ來つたものである、卽ち特殊化されたる普遍なりと云ふことを忘れてはならぬ、同情の精神が必要である、所が今日は餘りに單なる特殊主義が蔓つて居る、だから相手も仇敵だと思つて交際つて來るやうになるので、若し吾々が本來同一體のものであると云ふ心を以て交際つたならば、相手も矢張り同一體のものであると云ふ心で交際つて來るに相違ない、だから惡いのはこつちが惡いのだ、「われよきに人のあしきはなきものよ人のあしきはわがあしきなり」と言うてこつちが良ければ決して人が惡くするものではない、又「世の中の人をあしゝと思ふなよ吾れだによくは人もよからむ」と云ふのがあります、何でも初から獸主義で相手を仇敵などゝ考へて居ると、相手も亦こちらを仇敵だと考へるやうになる、それだから何處迄も初から同一體の普遍であると云ふ考を以て交際ふと云ふことが必要である、卽ち同情と云ふ心がなくてはなりませぬ、此同情と云ふ點に付ては御婦人方は男子の者より以上に優れて居る筈でありますから、從つて單なる特殊主義が今日蔓つて居ると云ふが如き此社會には、同情の精神の豐かなる御婦人方も其責任の重大なることを切に考へざるを得ないのであります。

それから最う一つ今のことに關聯しましてお話したいことがある、それが矢張り御婦人方に密接の關係のあることであります、それを申上げたいと思ひます、それも昨年の暮にお話したのでありまして此處には其節に出席になつた方もお見えになりますので、其方々には甚だ迷惑かも知れませぬが大多數の方には初めてゞありますから其事をお話して見たいのであります。

私段々申しましたことは、即ち現在の社會が單なる特殊主義の弊害に陷つて居るのであつて甚だそれが宜しくない、是はどうしても同一體主義と云ふ精神生活の根本義に到達しなければならぬと云ふのでありますが、是は單に私が言ふばかりでない、西洋の學者が西洋の文明に付て自ら慨嘆して言うて居るのでありますが是は至つて公平だらうと思ふ、其西洋の詩人が西洋文明に付て慨嘆して居ることを言つた方が却て公平であらうと思ひますから、之を引合に出して御婦人方が如何に將來の文明に關係することが多いかと云ふことを一言申して置きます、是もあちらこちらの會合の席上でお話したことがあるから或は又皆樣の中に聽いて居る方があるかも知れませぬが、是は英吉利の名高い思想家のキッドと云ふ人がある、それは遂ひ二三年前亡くなつたさうでありますが其キッドの著はした著述がある、一昨年に出た著述であります、それを讀んで熟々私が感じた、そこで御婦人方の前では時々此事を引合に出す、キッドの言ふには今日の西洋文明と云ふものは非常な墮落をして居る、即ち自己中心的力主義、我利主義、單なる特殊主義の弊害に陷つて居る、是が宜しくない、是非とも精神生活を根本義にしたものでなければならぬ、そこで何が原因で斯う弊害を惹起したか、それには色々の原因あるが其主なるものゝ一つは進化論と云ふ、英吉利のダーキンと云ふ人が一番初に其事を言ひ出した進化論、生物進化論と云ふ、是は人間に付て餘り言ふ積りでなかつたのでありますが、主もに人間以外の動植物に付てのことであり

ますが、人間は其通りでないのでありますが、一體生物と云ふものは――生物と云ふものは一體子供が生れ過ぎると云ふ、生れ過ぎるのであるから迚もそれが皆生きて居ることが出來ない、此世界に皆育つと云ふことはどうしても出來ない、どうしても大多數のものが死なゝければならぬ、けれども私が死ぬる方に向ひませうと言ふものはない、無論それは時々自殺者もありますけれども御都合さへ宜ければ生きて居りたいと云ふ、仕方がないから死ぬと云ふ、死なうと考へる人は――生きるとか死ぬとか言ふ人はそれは命を大事がる人である、だから實際命なんかどうでも宜いと思ふ人は初めから死なうとか生きやうとか云ふことは少しも思はない、要するに初から死ぬことを希望して居る者は一人もない、どうしても死なゝいと云ふ其結果即ち御承知の如く生存競爭と云ふことになる、盛に生きるここの競爭が行はれる、互に生きやうとして競爭する、其結果はどうなるかと云ふと、學術的の言葉では頗る面倒になり

ますから普通の意味で申せば優勝劣敗、即ち優れた者が生き劣りたる者が亡ぶと云ふことになる、多勢の者が互に競爭をする、他を倒して己れが立つと云ふ力主義的の競爭をして其中で他を倒して己れを立てると云ふ優れた働きのある者が生殘るのであります、自己中心主義の優れた者が殘る、其生殘つた者が又生み過ぎるのである、そこで此遺傳と云ふことがあつて優れた者の子供には優れた性質が傳はるのであるが、矢張り生み過ぎる爲に皆育つて生殘ると云ふ譯にいかぬ、そこで又生存競爭が行はれる、其中の優れた者ばかりが生殘るのであるから餘程優れた者が生殘つて居る譯である、其生殘つた者が又生み過ぎる、そこで又生存競爭が行はれ其中の優れた者が生殘ると云ふことになる、又子供が生れる、又競爭を始めるから段々優れた者に變つて行く、即ち自己中心的の生存と云ふものに最も適するやうに段段生物は變化して行く、其變化を名付けて進化と言うたのであります、さう云ふ理窟を表明した名高い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本をダーキンが一千八百五十九年に出した。
所が其當時は西洋の時勢はどう云ふ時勢であつたかと申しますと、政治上に於ては間違つた專制主義に對して又間違つたデモクラシーと云ふやうなものが敵となつて相爭つて居る、經濟組織の側で言へば、有產階級の間違つた自己本位の組織に對して無產階級が又自己本位で以て之を敵として互に爭ふと云ふやうな形勢になつて居つた、其他各方面に於て互に自己中心的の他を倒して己れが立たうと云ふ氣分が充ちて居る時であつた、けれども何だかどうもそれは惡いと云ふやうな心持もあつて稍々憚つて居る氣味であつたが、恰度其時にダーキンが進化論を表明した、進化のある爲には自己中心的の他を倒して互に戰ふと云ふことがなければ駄目だ、其生存競爭の結果初めて進化があると云ふことの理窟を出したものだから、今迄は稍々憚つて居つた者が今度は公々然と自己中心的力主義と云ふことを實行するに至つた、經濟上に於ても國際上に於ても卽ち單なる特殊主義と云ふものが盛に蔓るやうになつて來た、此傾向は矢張りダーキンの進化論が惹起した一つの原因でありますが、是は非常な間違で宜しくない、兎に角此進化論と云ふものから西洋文明の墮落と云ふ一つの結果が惹起されたのだと云ふことをキッドが明かにしまして、さうして言ふには、進化と云ふ道理を以て人間の將來を說明することは出來ないものであると云ふことをキッドが論じたのであります、人間以外の動物や植物は今言つた進化論の道理で說けるが人間はさうはいかない、人類社會の進步發達と云ふことは唯進化だけではどうしても駄目である、第一進化と云ふことから得る所の發達進步と云ふものは極めて緩い、今遺傳と云ふことに依つて大變早く進化するものゝ如く聞えたでありませうが、其實ちつとも早くない、是も此前話したのでありますが鼠を例にしてお話し致しませう、御承知の如く鼠と云ふものは澤山子供を生むさうであります、一匹の鼠が何十匹を生むと云ふことで、それが又各々何

十匹を生むと云ふ譯で數代の間に數億萬匹になるさうでありますがそれ程殖える、從つて鼠の間には生存競爭が極めて劇しい譯である、極めて進化して居る譯だが、扨て千年前の鼠と今日の鼠とどれ程變つて居りますか、兩方の鼠を較べて見た譯でないがさう大した變りでないと思ふ、千年前の鼠の話を聞いて見てもさう大した變りがないさうです、然るに鼠程生み過ぎもしない又從つて進化もない筈の人類社會が極めて劇甚なる進歩發達を遂げて居ると云ふのはどう云ふ譯でありませう、三四十年前の日本の文明狀態と今日の狀態とは非常な違である、明治時代と大正の今日の時代と較べたならば丸で天地の差程進歩して居る、是は決して進化では説けない、若し進化位のことならば千年前の鼠と今日の鼠の違位しかない筈である、然るに僅か三四十年から五十年位の間に斯程迄に進歩のあると云ふことは何の爲かと云ふと、是は決して進化ではない、然らば何か、此事に付てはキッドは明瞭に證據を與へたのでありま す、先程言語のことに付てお話した時に言つたことゝ今のことゝが關聯して居るのであります、今申しましたやうに他の動植物の進化のあるのは是は遺傳と云ふことが關係して居る、親が子供を澤山生んで其中の優れた者が生殘る、生殘つた者が競爭をして其優れた者が又子供を生む、隨分優れた者の子供であるからそれが子供に遺傳する、さうして又競爭が行はれ段々遺傳すると云ふ譯で、そこに遺傳と云ふことが關係して居る、さう云ふ遺傳は是は親から子、子から孫と云ふやうに生理的の關係を通じての遺傳である、さう云ふ遺傳をキッドは個人的遺傳と言つて居ります、此個人的遺傳と云ふことを通じてさうして生存競爭優勝劣敗と云ふことならば、それは先程申した如く千年前の鼠と今日の鼠との違の如く大した違がないのであります。

然るに人類が僅かの年月の間に非常な進歩發達をして居ると云ふのは何に因るかと言ふと、是は最う一つ外に其原因がある、それは何か、大事な點であ

りますが、キッド――は之を名付けて、個人的遺傳に對して之を社會的遺傳と申して居ります、此事を一寸お話して置きませう、社會的遺傳と云ふのは何を指すかと申しますと、言語と云ふものを仲介として思想の内容を發表的傳達するといふことに依りまして敎育を施し、感化を與へ、薫陶を及ぼし、影響を及ぼすと云ふ働きをする學校に於ける敎員、或は講演會或は書物を讀む、あゝ云ふことが社會的遺傳であつて、卽ち言語を通じて敎育、感化、薫陶などを行つて今の文明を次の社會に傳へるのである、之を名付けて社會的遺傳とキッド――は言うたのである、親から子、子から孫と云ふやうに生理的の骨肉的の關係と云ふことを通じてゞなくして、實に言語を通じて感化薫陶を及ぼすことに依つて今の社會の文明を更に進んで將來に傳へて行く、之を名付けて社會的遺傳、此遺傳と云ふ言葉はキッド――が洒落て使つたのです、個人的遺傳と云ふことに對して社會的遺傳と云ふ言葉を洒落て使つたと思うたら宜しいのでありますが、兎に角さう云ふ社會的遺傳があればこそ極めて劇甚なる極めて早い進步發達と云ふことが人類社會にあるのです、實に言語と云ふものがあればこそ是が出來る、若し言葉がなかつたならば、親が子を生み子が孫を生むと云ふ生理上の關係を通じて遺傳する外には進步の途がないと云ふことになつて仕舞ふ、然るに社會的遺傳と云ふものがあるから僅か暫くの間に驚くべき進步發達が初めて出來るのであります、例へば斯う云ふ思想があつたとする、それを讀む或は聞くと云ふ風に色々のことがあるから、僅か二三十年の間或は五六十年間に非常な發達をすると云ふことになるのであります、人間には精神生活がある、其精神生活の内容を互に發達して交換するに言語があるからであります、他の動物は斯るものがないから、外の動物は唯進化は個人的遺傳と云ふことを通ずる外はないが、人間は固より人間も個人的遺傳はあるけれどもそんなことだけでは迚も進步は望まれない、卽ち敎育、感化、薫陶等の社會的遺

傳に依らざるを得ないのであります。

さうして此前にも話したことであるが、キッドが此事を言ふ所で日本を引合に出して居ります、日本が今日あれ程進歩したのは何に依るかと言ふと實にそれは社會的遺傳の力でないか、日本と云ふものは實に憐れなものであつた、それが僅かに四五十年の間に世界五大强國の一つになつたと云ふのは、實に國民教育其他の社會的遺傳のお陰でないか、社會的遺傳の效力の偉大なることは日本の進歩に依つても分るではないかと云ふことを言うて居る、日本に執つては極めて光榮なことであります、所がキッドが日本と一緒に獨逸を引合に出して居る、獨逸と云ふ國家は、あれは獨逸帝國と云ふ國家を建設されてから極めて日が短いが、其僅かの間に世界最强國となつたのは何の爲か、實に國民教育其他の社會的遺傳と云ふことの力に依るのである、日本と云ひ獨逸と云ひ社會的遺傳と云ふことの效果の夥しいと云ふことが是でも分るではないかと言うて居る、さうして獨逸に付ては最う一つ言うて居る、其獨逸が此社會的遺傳を以てどう云ふ目的を實行しやうとしたかと言うと、情けないことには之を以て自己中心的力主義を實行しやうとした、洵に嘆かはしいことであります、自己中心的力主義と云ふものは精神生活の仇敵である、言語を用ゐて社會的遺傳を爲すと云ふことは是は實に精神生活者の特權である、獨逸が表面に於て此精神生活者の特權である所の社會的遺傳を用ゐて居ながら、其裏面に於ては仇敵とも見るべき自己中心的力主義を實行しやうとした、即ち矛盾自家撞著の態度を執つて居る獨逸は當然破滅に終らなければならぬと云ふことを言つて居る、所が果して獨逸帝國が亡びたのではありませぬか、さう云ふやうな譯で書物には此事を詳しく書いて居るのであります、それから是も昨年お話したのでありますが此際お話したいと思ふのは、私其本を讀んだ時に私に一つの大なる希望が涌いて來た、それは此次に若しさう云ふ書物が出る際には、最う一箇所日本を引合

に出して貰ひたいと云ふこと、それは何かと言ふと、日本は實に社會的遺傳を用ゐると云ふことに付ては洵に宜い例であるが、日本が社會的遺傳と云ふものを用ゐて如何なる目的を實行したかと言ふと、實に同心一體主義、特殊即普遍主義、犧牲的精神に基いた同一體主義、殊に最も良き意味の最も高尚なる家主義、家族主義の精神に基いて、政治上の困難問題も經濟上の困難問題も其他人類に關する有らゆる問題を此同一體主義、特殊即普遍主義の發達に基いて、麗しく解決すると云ふことの爲に國民敎育其他のことを洵に能く活用した、社會的遺傳と云ふ靈妙なる働きを活用して、精神生活の根本義に基いて人類の生活を圓滿に向上せしめて行く、吾々は實にあの日本の態度を學ばなければならぬ、お互に敵となつて憎み合ひ戰ふと云ふやうな個人主義の態度では到底根本的の改造が出來るものでないと云ふ、さう云ふやうに世界の者を目覺すことが出來たならば日本は實に其意味に於て社會的遺傳を最も有效に活用した世界の模範國である、さう云ふことを最う一箇所加へて貰ひたいものだと云ふことを私は其時熟熟考へたのであります、是位のことを我日本民族が爲し得ないならば元來家主義的、道德主義的の生活を爲すと云ふ人類を有つて居る民族としては甚だ意氣地がなさ過ぎると思ふ、さうして私は確かに此事を實現し得る、實現する途は何かと言ふとそれは社會的遺傳に依るの外ない、即ち國民を感化薰陶すると云ふことの外に途はない。

そこでキッドの中すには、社會的遺傳と云ふものは幼少なる者に加へる時に最も有效であると云ふことを言つて居る、若い者に一旦與へられた所の社會的遺傳は容易に拔けない、幼少の折に感化薰陶されたものはなか〳〵拔けないものである、それであるから社會的遺傳と云ふことは之を小國民に施すと云ふことに依て其希望は必ず實現するのであります、精神生活主義、同一體主義を能く小國民の中に植付けることに依つて必ず爲し遂げ得られると思ふので

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あります、大分横道へ外れるやうでありますが、私は先程申しましたやうに私の國は信州の山の中で、今でも最も近きステーションから五里程ありますが、さう云ふ山の中でありましたからなか／＼海の魚などは口へ這入らなかつた、偶には這入ることもあるが主もに鹽引とか云ふやうな干魚ばかり、それでも洵に旨かつた、其セイもあらうが、今東京に住んで居りますが、夏など食慾甚だ衰へて何を食べても美味しくない、そんな時でも鹽引を酒に漬けて出されゝば何杯でも食べる、さう云ふ風に子供の時の氣分影響と云ふものは今に殘つて居る、是はどうも鹽引位の例で甚だ卑近でありますが、兎に角幼少の時に受けた感化影響卽ち社會的遺傳程強い力のものはない、さうしてキッドは言うて居る、其社會的遺傳と云ふことに付ては男子よりも婦人の方が遙かに天才的に優れて居ると云ふのであります、さうして幼少なる者に與へる所の社會的遺傳と云ふものは、冷やかなる理窟を通してゞなく、婦人の此感激なる狀態に依つて最終の效果を收めることが出來るのであります、此感激なる狀態に依つて現はされたる所の社會的遺傳ほど偉大なるものはない、婦人と家庭との關係の有らゆる方面を斷ち截つても、此關係さへ一つ殘して置けば優に人類文明の將來を左右することが出來るのであります、婦人と云ふ者は實に天才的に社會的遺傳の働きを爲す所の大なる力を有つて居る、人類文明の將來を左右する鍵を婦人の手が握つて居ると云ふ、斯う云ふ譯なんです、兎に角婦人はさう云ふ點に付て大なる責任があると云ふことを自覺しなければなりませぬ、是等の點を考へた時に私は此女子敎育と云ふものは、決して忽にすべからざるものであると云ふことを痛切に感ずるのであります、是程偉大なる影響を社會に及ぼす所の働きある婦人が、妙な理想を以て或は變手古な考を以て、それを社會的遺傳を通じて小國民の敎育の上に與へると云ふやうなことをするならば、國民の將來はどんなものになるでありませうか、社會的遺傳

の上に偉大なる靈妙なる働きを有つて居る婦人が、立派な思想を抱いてそれを社會的遺傳を通じてやられると云ふことならば結構でありますが、社會的遺傳を用ゐて婦人方が却つて悪い影響感化を與へると云ふことであれば、國民の將來にどんな結果を來すでありませうか、人類の將來に向つて洵に由々しいことである、寒心に堪へざることであると思ふのであります。

私は此意味に於て、婦人教育、女子教育と云ふものは、國民教育の根本を爲す大切なものであると云ふことを痛切に感ずるのである、其國民を左右する力は一に婦人の方寸にある、それ位の自覺を起さなければなりませぬ、今日の教育ではまだ足りませぬ、もつと〳〵進めた立派な教育が婦人方の前に施されるやうでなければならぬと思ふのであります、さう云ふやうな譯で、どうしても婦人の力を通じて、段々お話して參りました同情と云ふ一面に於て、又只今申しました社會的遺傳に關係する方面に於まして、現在の社會に於きまして婦人の特に注意すべき、大いに覺悟すべきものがあると云ふことが分るだらうと思ひます、まだ此事柄に付て皆樣方にお話したいことがありますけれども、大分時間も費したやうでありますから他日に讓ることゝ致しまして、兎に角此單なる特殊主義の弊害に陷つゝある現代の風潮、之に對して特に御婦人方の大なる覺悟を促したいと思ふのであります、それ故に「現代の社會と婦人の傾向」と云ふやうな題を掲げて皆樣の清聽を穢した次第であります。（文責在記者）

叢談

手の話

ドクトル　三田谷啓

人間の身體の中に不用のものとては無いが又手ほ

どよく役に立つ重寶なものは少い。手は或意味に於て人格を現すものである。それほど重い意義のあるものであるから手と言ふ語が本になつて種々の表現が生れた。試に左にその例を示してこれを實證して見やう。

契約に關しては「手形」「手附」「手合」(賣買契約)、「手切」(談判の破裂)、「手金」又「手を打ち」て契約の成立を證據立て又「手の印」を押して契約を結ぶ。「拇印」とは拇指を印にかへて押捺することで俗に言ふ爪印である。

「手附倍戻し」は賣主違約の際に買方の手附を倍にして返すの意である。

性質、技倆を現すには「手利」(てきゝ)「巧手」、「手品」、「手柄」、「手配」、「手腕」、「手際」、「手練」などの語がある。

其他手は種々の意味に用ひられる。例へば「手にをへぬ」、「手につかぬ」、「手こすらせる」等は惡い方で、「手練手管」などはあまり有り難くない。「手詰の談判」などは何人にも歡迎せられぬ。「手足がぬけるやう」は疲勞の甚だしい形容で、「手足が棒になる」は疲勞して感覺を失ふこと、「手足が釘になる」は寒さの爲めに手足が冷える義である。「手かけめかけは男の働き」は恐れ入る。「手活の花」と來ては誠に以てお安くない方である。「手飼ひの犬に嚙まる」は飼犬に手を嚙まれるの意で、世話をしてやつた人から恩を仇に返さるゝの意にも用ひられる。「手書あれども文書なし」は能書家はあり能文家は少しの意。「手でする ことを足でする」は爲すべきものを以てせずして、爲すべからざるものを以てすること、「手と身とになる」は無一物になる事、【日本永代藏】「金銀ありたけを祇園町の娘に打ち込み、手と身になつて、こゝの首尾さへよろしからず」。「手無し」は禁中で月經ある女を手無しと云ふ、供御、御調度にも手出しが出來ぬ故である。「手鍋をさげる」は婢僕のない寒素の生活狀態である。「手に手をとる」は提携すること、「手八丁口八丁」は手も口も達者なこと。「手前を棚へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

上げ」たり、「手前味噌を竝べ」られたりしては、聞いて居ても逃げ出したくなり、「手を翻せば雲となり手を覆へば雨となる」は、人情の變り易きを意味し、「手をかへ品をかへ」は色をかへ品をかへ、又名をかへ品を換へて種々の手段をつくすの意、「手一杯」、「手兒舞」は手足處を失ふ程に忙しきの意で、この反對に「手を拱く」「手持無沙汰」は何等爲すことなくて徒然なるを言ふのである。「手が長い」、「手癖が惡く」なつてはもう駄目である。「勝手にしろ」、「捨て手置け」、「放ッ手置け」などゝ來られてはもう浮ぶ瀨がないのである。

手の骨の發育

手の骨は初めからよく發育して居るのではなく、漸次化骨して來るものである。初めにはX光線で映しても少しも現れぬものが後には漸次明になつて來る。醫學博士藤浪剛一氏は我邦兒童の手につきて化骨の狀況を見るためX光線で映して見た。(富士川博士著敎育の衞生)これによると生後第一箇月では腕骨が一つも見えぬが四歲になると數個出來、十歲になつては稍完成して居るがまだ不十分である。

斯くの如く骨骼は先づ軟骨で形が出來、これが段段骨に化して行くのである。長い骨は生れた時又は生後間もなく化骨して居るが其兩端は軟骨のまゝで、これが歲月と共に化骨して行くのである。かう云ふわけでこどもの骨骼は割に軟かで且弱い。從つて出血し易く痛が容易に起る。それ故に幼少のこどもに於ては骨の端を劇しく使ふやうな運動を避けた方がよい。十三、四歲に及んでも尙ほ骨の質は成人に比して軟弱であるから劇動及び不合理の運動や遊技などをせぬやうに注意を要するのである。中學初年級の子供が柔道を行ひ骨膜炎次で骨髓炎を起して死んだ例もある。勿論これは何人も斯うなるわけではないが、その子供の骨の發達が後れて居るか、又は運動が身體の發達以上に過劇であると右の如き取返しのつかぬ破目に陷ることがあるから、この點に注意を拂ふ事が大切である。手の骨の圖は只化骨の

狀態を示す例にとつたので、身體他部の骨もこれに近い關係があるものであるから返す々々も負擔能力以上のことをこどもに强ひてはならぬ。

刑事學上より見たる手

罪人が犯罪の現場に遺失した物品は犯罪者檢察の上に有力な資料となるものである。例へば紙、文書等の如きである。又殊に有力なる參考は犯罪者の身體一部分の狀態を察知するものゝ遺り居る場合である。指紋の如きは蓋しこれに屬するものである。指紋は極めて特異のものでその形は所謂千態萬狀である。ガルトンは指紋を四十一の種類に分けて居る。同じ人の指を見ても一個一個に指紋が異つて居る。つまり人類の中で同じ指紋を持つて居るものは無いわけである。丁度同じ一本の木から生じた葉は幾個あつても詳細にこれを檢べて見ると全然同じものゝ一つも無いのと同樣の理である。

そこで昔は署名に併せて指印を用ひて居た。今日と雖も印度では指印が應用されて居るのである。版印等を用ふるよりも餘程確然である。それは指紋は生れてから死するまで一貫して變化することが無いからである。單に生れてからでないのみならず妊娠六箇月以後は指紋は變化せぬのである。尤も年齡によつて多少は大小が出來るけれども廻旋、間隙、分岐等の種類は毫も變化しないのである。身體の大きさや、關節や、毛髮の色、容姿、眼の光澤、筆蹟等は年と共に變化するけれども變らぬは指紋である。

斯くの如き特徵點があるから指紋を刑事學上に應用することになつたのである。茲に犯罪者があつてその指紋が既に整理して當局の手にある場合には嫌疑者が出ても指紋をとつて見れば直に眞僞が明かになるから無辜の罰を受けるやうなことはないのである。

斯くの如く檢察學の應用が科學的になればなる程犯人を發見することが容易になり且適確になるのである。

左利きと右利き

普通の人では身體の右半分は左半分よりよく發育して居る。從つてその機能も亦右側の方が左側より優勢である。人類は普通右利で、これは古今、東西を問はず共通の事實である。石器時代でも人類は尙ほ且右利であつたと言はれて居る。大腦右半球の發達が左半球より強くて左利が起つた場合には異常的現象と看做され、左利の小兒には吃吶、言語澁滯、又はその他の言語障碍があると言はれて居る。スタイチルの調査によると二百九十四の左利家族の中で癲癇を病めるものが百人中、四人程の割合になつて居た。

　左利はどの位あるかと言ふに余が甲小學校の生徒につき調べた結果千四十三人中三・八％で乙小學校では八百二十九人中二・四％、幼稚園兒百七十三人中五・二％あつた。シエーフエルの調べによると伯林小學兒童一萬七千七十四人中左利は、六百九十二人(四・〇六％)あつた。尙ほ左利のものは鏡字を書く、文字を鏡にうつして見ると左字になつて居る、これを鏡字と言ふのである。この鏡字は左利のものが好んで書く。素より全部と云ふわけではない。

兩手敎育は必要

兩手敎育を主張したのは英人ジヤクソン米人タッド兩氏である。後には獨逸のフレンケル氏もこれに贊成した。その主張點はかうである。右手のみで作業すると左側腦髓は常に一定の負擔をなさねばならぬ。その結果疲れ易くなる。左右の手を均等に練習して左右の腦髓をよく發育させることが必要だと云ひ、フレンケルは左右兩手を同様に使用するやうにすれば五〇％の作業能率を增すとまで主張して居る。右利の兒童が左手の練習をすれば左右の手で同時に異つた手紙を書き得るやうになると言はれて居る。又同時に作業せずとも交互に作業し得れば疲勞の發生が減ずることになる。キヨニヒスベルヒで二週間に亙る兩手敎育講習會が開かれたことがあつたがその成績は大に見るべきものがあつたと言ふことである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兩手教育の方法は疎より細に入り大より小に、輕より重に徐々に移り行く。初めは左右均一の運動(體操)を行はせ、進んでは兩手を用ふる作業例へば黑板に文字や、鬪畫を書かせたり又は編物などをさせるのである。

スチールは三百人の左利兵士に右利練習をさせたがその方法は左の如きものであつた。

鞭を振り鳴らすこと

針の目に絲を通すこと

骨牌を混せ合せること

小刀で種々の操作をなすこと

麪麭を切ること

兩手教育の教材に就きては尙は將來の研究や實驗を俟たねばならぬけれども、兎に角興味ある問題だと謂はねばならぬ。(完)

生理と經濟とより見たる野菜

醫學士　淺田　一

○組成　野菜中に存する水以外の榮養素は澱粉又は糖の形を取つて居る含水炭素である。蛋白は「グロブリン」の形で種々の分量に於て含まれて居る。之は「レグミン」とも稱せられる。植物性蛋白と動物性蛋白と比較すると左の如き差違がある。

(一)植物性蛋白は「ヌクレオプロテイン」を缺いて居るが動物性のには多い。

(二)植物の蛋白は主として「グロブリン」であつて動物の「アルブミン」よりも硫黃の含量が少い。之は鹽類溶液には溶けるが純粹の水には溶けない。

(三)植物性蛋白は分解に際し動物性のよりも餘計に「グルタミン」酸を生ずる抽出性物が野菜にあるが之は「アミン」として知られて居る化學的物

質に屬する。

無機鹽類は野菜類の榮養價を增すものであるが多くは「カリウム」及燐の形で含まれて居る。「カルチウム」の枸櫞酸、燐酸及硅酸鹽類は少量に存し硫黄は洋葱、甘藍及莢豆の如き野菜中に含まれて居る。以上の鹽類は鹽化物として現はれないから之を調味するに食鹽を以てするはよい配合である。

脂肪は野菜には只少量に、そして「オレイン」の形で含まれて居る。

榮養價　野菜類には蛋白が含まれて居らないとか榮養價がないとか考へる人の多いのは大なる錯誤である。野菜類と雖も適當に配合するときは完全なる滋養に必要な丈のものを供給し得るのである。只此の適當なる選擇が中々難しい。だから之を動物性食品と共に攝取し又は食品に變化を與へる爲に之を配する樣にすれば自然此缺點を補ふことになる。尙野菜には食品に香氣を與へ、容積を與へ、人の便通を能くするといふ樣な效能がある。

野菜の選擇　野菜は凡て丁度其時期にあるものを買ふべきである。さうすると風味も能く、且價も安い。未だ熟しない時とか違つた時期に溫室で作つたものなどは味は兎も角價が高い。又野菜は寸法の大きなのよりも中位の大きさで大きな割合に重く、新鮮で硬くしまつたのを買ふべきである。大きなのは古くて纖維が多い。外皮に損傷のないのを取るがよい。土砂が附著して居るのは水を吸はして新鮮な外觀を装はしてあるのではない證據になる。

野菜の煮熟　野菜を煮ると左の如き效果がある。

（一）細胞組織が鬆疎になり、柔かになる。

（二）澱粉顆粒が水を吸つて脹れる。

（三）爽快な香氣が出て來て不快なものは消散する。

野菜を煮るには出來るだけむだのないやうにせねばならぬ。普通の方法卽水で煮るのは榮養素殊に無機物を抽出してしまふ。此の損失の最も少いのは蒸氣を通じて煮ることだ。燒くに於ては損失が少しも

ない譯である。まるぐち煮るときはむだが少い。細く切ると榮養素が拔け出してしまふことが多い。

凡て青物、大根、蕪類及球莖類は煮る前に新鮮でしつかりして居らねばならぬ、新鮮でなく、萎れて居るものは仕方がないから一時間ばかり冷水中に浸すとよい。植物は凡て煮る前には常に氣を附けて清潔に洗はねばならぬ。

豆類以外の野菜類は急に沸騰して居る湯の中に入れて柔かになるまで煮るので一番旨く煮られる、この際鍋の蓋は一部開けて置いて空氣の流通がよいやうに又不快な揮發性「ガス」を出してしまふ樣にするがよい。煮過ぎると葉綠素及他の要素が壞れ爽快な香氣がなくなる恐がある。

水に重曹を加へて野菜を煮るのは感心せぬ。實驗上「アルカリ」性液中で煮ることは「ヴイタミン」のあるものを溶解してしまふから野菜の榮養價を損する譯になる。

野菜貯藏法　之には種々の方法がある。日本では漬物にすることが最も廣く行はれて居る。又干して乾物とし或は罐詰にする。鹽漬にするだけでもよい。硼酸、安息香酸、鹽類等を用ひて防腐貯藏するのはいけない。冬の野菜、蕪、「キャベツ」、洋葱、人參、芋等の類は冷所に埋めて置けば貯へられる。

豆　類

種類が多い。之は堅果に屬する。莢は食へないが若い柔いものは食用に供せられる之は香氣がよくて消化し易いが榮養分に少い。豆類は一般に野菜類中で最も蛋白質を多く含んで居る、交通の開けない時分の山間の僻地に居るものが能く生存して行けたのは實に豆のあるお蔭と云つても過言でない。豆類は窒素を供給してくれる細菌を其根に寄生せしめて之と協同して、空中の窒素を取つて自家の組織を形成して居る一種特有の植物である。能く熟したものは香氣に乏しくなるが蛋白を多量に含有して居る、だから之は動物性食品の代用物として最も尊重すべきものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

豆の煮方

煮方は他の新鮮な野菜の煮方と大差ないが、其煮方如何に由り其消化力に大變な相違を來すから氣を附けねばならぬ。乾いた豆は先づ清洗し冷水中に一晩漬けて置く、翌朝同じ水で柔になるまで煮るのである。

ナンキンマメ

吾邦へは明治七年米國から渡來したさうだが、今は到る所に繁殖して居る、現今最も多く落花生を産する所は第一が英領印度で日本は第二に位するさうだ。其組成は種皮あるもの は水分六・三〇蛋白質二八・二〇脂肪四一・二〇含水炭素七・二〇纖維一三・九〇灰分三・二〇で脂肪に富むから油を榨つて食用に供し含水炭素少ない爲糖尿病患者も心配なしに食することが出來る。單に炒つて食しても旨いが菓子に製し汁粉や豆腐にも製せられる。

豆の組成

日本人の常食になつて居る豆類の組成を一括して掲げると左の通りである。

	蛋白質%	脂肪%	含水炭素%
黒豆	四〇・二五	一八・二六	二一・九七
大豆	三六・七一	一七・四三	二四・九三
小豆	二二・九七	〇・三八	五一・六七
豌豆	二三・六九	〇・五六	五一・〇三
蠶豆	二八・八八	一・二九	四九・七四
隱元豆	二〇・三六	一・〇七	五三・一九
未熟のサヽゲ	二・二六	〇・一八	二・三五

右の樣に豆殊に黑豆大豆は野菜類でも多量の蛋白質を含有して居るから物價騰貴の時節に强ひて毎日獸肉や魚肉を食はなくとも安價な豆で十分補ふことが出來る。尙豆の製品の組成を掲げて見ると左の通りである。

	蛋白質%	脂肪%	含水炭素%	糖分%
豆腐	六・五五	二・九五	一・〇五	―
豆乳	四・二三	一・六四	三・二二	―
湯葉	五一・六〇	一五・六二	六・六五	―
油揚	二一・九六	一八・七二	〇・四九	―
卯花（オカラ）	三・六六	〇・八四	六・三五	―
納豆	一九・二六	八・一七	六・〇九	―
田舍味噌	一二・〇八	三・七三	二・五四	一三・二二
赤味噌	一三・四八	五・〇〇	三・九八	一〇・四八

白味噌	一三・八三	二・八三	九・三〇	一五・五〇
醬油(豆のみにて作るもの)	一・〇八	—	二・二三	—

即吾人の毎朝の食膳に上る味噌は單に肉鹽基より含有して居ない「ソップ」に勝ることは申迄もなく、豆乳は牛乳に優り、豆腐に味噌を付て燒いた田樂などは動物性食品に對抗出來る立派な榮養品である。比較的蛋白質に乏しく含水炭素に富んで居る小豆豌豆などは蒸菓子の餡粉又は汁粉の材料として下戶黨に愛用せらる。

大豆

之は廣く東部亞細亞に產するもので殊に支那北淸滿洲に多く我國には今より一千二百餘年前文武天皇の大寶六年に初めて輸入栽培せられたとのことである。之は搾つて油を取ることも出來 其豆滓からでも豆腐や豆粉など製することが出來る。 鞘豆としても豆そのまゝ煮たり炒つたり油で揚げたりしても間食に用ひられる。 葉も嫩いのは饑饉の時に食用になるといふ、 豆腐を作つた滓は「オカラ」として人畜に食せられ納豆菌の醱酵による納豆は江戶ッ子に愛用せられる。といふ風に棄てる所がないほど利用されて居る。

豆腐の製法

土地と氣候とで多少差違があるが通常十二時間許豆を水に浸し膨れるのを待て石臼で挽き、約三倍の水を加へて釜に移して煮沸し、沸騰した所で苦汁を入れ、尚一時間ほど煮續け、布の袋に移して搾り、その汁を靜置し沈澱が出來たらば箱に入れて布で蔽ひ輕く壓して水分を去り出來上つたのが豆腐で、該の布の袋の中に殘つた方は卯の花である。

湯葉の製法

先づ豆乳を作り之に少量の灰分を加へて皮膜を生じ易からしめ、蓋をしないで煮詰め、皮膜が出來ると之を棒て取上げ日光に晒して乾燥するのである。

味噌の製法

味噌は大豆に空中の種々の細菌が繁殖して之が大豆の蛋白質を分解し又之に混和する麹の麹菌から出

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

來る酵素に由て澱粉が糖分になるし又蛋白質も分解されるといふ風に蛋白の分解產物たる「アミノ」酸や澱粉より變化した糖分が增して味噌に特有な美味を作るのである、味の素の主成分たる「グルタミン」酸なども此際生ずる「アミノ」酸の一種である。この大豆を醱酵さすに際して腐敗を防ぐ爲に食鹽を多量に入れるのであるが、この食鹽が多ければ多いほど熟するのが遲い。あのからい赤味噌などは熟するまでに、三年もかゝるさうである。甘い白味噌は食鹽が少いから三四日で出來るが、其代り腐り易い。一例として赤味噌製法を具體的にいふと、大豆一斗を水に數時間浸してから蒸籠で蒸して食鹽八升、麴七升を加へよく攪拌し、桶に移して上に油紙の類で蔽ひ置けば一年內外で食はれる樣になるのである。

納豆の製法

糸引納豆は大粒の大豆を蒸してまだ熱い中に藁苞に入れ之を室に入れて一夜暖めて置けば翌朝には出來上るのである。之は藁に存して居る納豆菌が大豆の上に繁殖して出來ので、糸を引く樣な粘著物は主として「ムチン」だが、之れは無數の細菌の塊を含んで居る。この稻藁には納豆菌以外の細菌の附著して居る塊があり從て腐敗の恐があるから純粹培養をした納豆菌を作用さして作れば氣持のよい納豆が出來るわけである。この納豆菌は四種あつて三種は橙黃色、黃色、白色の球狀菌で他の一は桿狀菌であるといふ、之が大豆に作用すると不溶性蛋白が分解されて可溶性「ペプトン」及「アミード」になり且一種の芳香性物質を產出する。芳香性物質を產出するは黃色球菌であるといふ。

濱名納豆は一夜では出來ぬ。之には大豆を煮て饂飩粉をまぶし放置して麴にならせ、之を鹽水に浸し桶に入れて醱酵させ、後之を取上げ、日に乾しては又桶に入れ約二ヶ月から五ヶ月かゝつて作るのである。だから久しく置いても腐らない。しかし蛋白は更に進んだ所まで分解されて居る。

豆類消化率

料理法で差違があるが煮豆、豆腐、湯葉及オカラの四種に付き日本人につき研究された結果を引用すると、

種類　消化率	煮豆	豆腐	湯葉	オカラ
蛋白質	六・五五	九二・七	九二・六	七八・七
脂肪	―	九六・四	九五・七	八四・三
含水炭素	八五・七	九三・三	八六・八	八二・八

肉類の蛋白質は大抵九〇以上の消化率を示して居るが豆腐や湯葉は之と比して大なる損毛はない。且肉類に含まれて居ない脂肪や含水炭素を含んで居るから誠に結構な食品である。

然し豆腐の蛋白質は僅に六・五五であつて肉類に匹敵するだけの蛋白質を取るには非常に大量の豆腐を食はねばならぬことに於て劣つて居る。

湯葉の蛋白含量は五一%以上で然も消化率が高いから之は中々馬鹿に出來ない食品である。

其他豆類を一々品評すべきであるが以上概説した以外に特記すべき事がないから之で打切にして、次には芋や大根類について述やうと思ふ。（以下次號）



冬期の小兒衞生

醫學博士　唐澤光德

冬期に於ける小兒の衞生として先づ何人も注意すべきことは、小兒をして感冒に罹らせないやうにすることである。子供の冬の衞生は全くこの一言に盡きてゐる。而して我が國の冬期に於ける衞生上、殊に子供に對して第一の缺點であり、最大の障碍となるものは、日本の

家屋の構造の不完全

なことである。「モルモット」や兎を粗末な小屋で飼養すると、嚴寒には死んで了ふ。これは病氣でなく、

寒さに堪へないからである。所が牛や馬だと、嚴寒になつても割合に死ぬことがない。多くは寒さに堪へ得るのである。即ち體の大きいものは溫度を攝ることが大いからである。これを以て見ると、子供と大人とを同一に考へることの誤れる理由は明かである。又私の經驗した所によると、或家庭で子供が常に感冒に罹つてゐたのが轉宅したり、又は家を造りかけた後は、感冒に罹ることも肺炎に罹ることも全く無くなつた例もある。又、或家庭で嬰兒に特別の設備を具へた室を作つて以來常に肺炎に罹つてゐたその嬰兒が殆ど感冒を引かず、肺炎にも罹らなくなつたのもある。是等は皆家屋が惡かつた爲めに、病氣を起してゐたのである。

而して子供の感冒の因は、寒さに對する防禦設備の不完全即ち通氣が餘り良すぎるからである。それが子供にのみ起るといふのは、子供は體が小さいので、感冒の爲めに少しの熱にも堪へられないからである。曾て大學病院の病室で、暖房裝置に故障が起つて、蒸氣が止まつた時には、その夕方から次の朝にかけて、三十八九度の熱を出してゐるものが驚くべき程多數に在つた。大略三分の二程の患者はその影響があつたやうである。寒さに對する防禦の中最も注意すべきは、家のみについていふと、夜間である。これ夜は氣溫が低くなる上に、家人の注意が行屆かぬからである。今日本の家屋の缺點の主なるものを數へて見ると、先づ日本の家庭には暖房器の設備がない、又「ストーブ」や炭で室を溫めても、

通氣が良過ぎる爲めに少しく注意を怠れば、夜中になつて氣溫が低くなる。すると寒い空氣が常に室內に流通してゐる。日本の家では障子のたてつけ、襖の奧から常に寒い風が入つてゐる。殊に注意すべきは牀下であつて、牀下から殊に寒い風が入つて來て、疊の敷目から入つて來るのである。大抵の家の牀は、節穴の多い四分板がしかも四五分の間隙を置いて張られてある。夜中三時、四時になると冷えるのは、戶外の空氣の

冷えたのが周圍及び下から入り來るが爲めである。身體の大きな大人ならば、それで別に障碍とはならなくても、子供には餘程注意しないといけない。私が常に診てゐた二十人許りの子供はこれらの點に注意した爲めに、感冒に罹つても一人も肺炎にはならなかつた。子供を肺炎に罹らせるのは醫者の罪か、然らざれば親の罪である。更に冬になつて、子供が肺炎に罹るのは、醫者の不注意か親の不注意に因るのである。

是等家庭の缺點に對して、如何なる注意を拂ふべきであるか、勿論出來ない所は詮方もないが、出來得る限りの事はせねばならぬ。先づ家に就いて言へば、即ち上述の缺點をなくすること、殊に牀下の方をよくすること、これは家全體に行ふことが出來なければ、せめて子供の部屋のみでも、牀板の良いものを選びて用ゐ、殊に閾の下に隙間を作らないやうに注意すべきである。而してそれでもまだ小さい間隙があるから、その牀の上に古新聞か、疊下紙かを敷くべきである。併し疊下紙は水がこぼれた時、下に通らないから、終に疊を腐らす虞があるから、古新聞の方が却つて良い。古新聞を二三枚重ねて敷きつめ、なほ下及び周圍を糊で張りつけておくことである。室の周圍、押入れの襖や隅に風の入る隙がないかをよく注意し、又三方障子では非常に寒いから、一方のみを障子とし、他の二方は硝子戸、又は襖にし、縁の外には硝子戸を立てること、而してその立つけに十分注意することは勿論である。この隙間を漏る風に注意することは就中最も必要なことである。

次に寢具は子供だからと言つて、餘り小さいものは惡い。殊に敷布團の如き、大きければ疊の目を廣く閉ぢることゝなつて、非常に利益である。私は常に患兒には大人の夜具を敷かせて、その上に子供のを敷かせてゐる。而して注意すべきは室内の保溫である。保溫器は日本室に出來るものでは、先づ瓦斯

「ストーブ」か或は炭火である。何れでも良いから、子供が健康な時には平均五十度乃至五十五度の溫度を保たしめ、もし感冒に罹つてゐる時ならば六十度位にしなければならぬ。處があまり溫めると室内の空氣が惡くなる、その爲めに惡い空氣を吸ふことになる。子供が病氣の時に、來る看護婦も來る看護婦も皆倒れる。お母さんは靑い顏して、顳顬に頭痛膏を張つてゐるといふ狀態は度々見る所である。これは室内を溫くする方にのみ沒頭して、室内の空氣の惡くなることに氣のつかないからである。それでこれを防ぐ爲に煙突か、或は火鉢の上に製茶所に見るやうなホイロ樣のものを設けると、空氣が常に替るから、この憂はないけれども、もしそれが出來なければ、室の上部の角の方に小さい穴をあけて、煙突の短いものをつけておくも良い。それも出來ない場合には天井板の一枚を少し引きづらして、そこに穴をあけて置くべきである。次に子供、少くとも就學前の子供、殊に嬰兒が感冒に罹つた場合には如何なる注意が必要であるかといふに、先づ子供がもし鼻を出し、少し咳でもし始めた場合には、決して風呂に入れないやうにし、室内の空氣を少し高くして、そして醫師の診斷を仰ぎ、吸入でもかけておき、戸外に出さないやうにすれば、決して重い病氣となる憂はない。肺炎などには決してならないのであるが、世間に多く見る重病患兒は、識らない間に、この規則を紊すからである。風呂に入れないことを嫌ふ親が屢〻あるけれども、半年や一年お湯に入れないとて死んだ子供はないのであるから、これは心して守るべきである。感冒に罹つた時の注意はこれで盡きてゐる。

子供をして感冒に罹らしめないやうに、豫防するには如何なる點に注意すべきかといふに、世間でよく聞く、平素よりの薄著奬勵は勿論よい考へで、極めて强健な子供ならば良いけれども、しかしその子供の健康の程度と、年齡とを大に參酌して、著物の

薄さの程度を定めねばならぬ。　吾々小兒科醫は、常に病兒を取扱つてゐる故に、動もすればすべてが控目になるのであるけれども、吾々の理想から言へば、年齡三四歲に至る迄は、普通の人よりも著物の一枚位多く著せておいた方が萬全であるやうに思ふ。殊に薄著を急に始めるのは惡い。少くとも初秋の頃から初めるやうにすべきである。然し全く過ちのないのは厚著させて、大事を取つて居るに若くはない。これは口喧ましい老人のゐる家の子供は、肺炎に罹らないのを見ても判ることである。併し成長して、五歲、六歲になり、然も非常に强健な兒童ならば、これは別問題である。

冷水摩擦及び水浴

これも薄著と同樣、大くなつた後ならば良いけれども、小さい子供には、それが殊に强健でない限り、行はぬが良い。少くとも十歲以上にならねば行つて惡い。八九歲の子供でも尙ほ早過ぎる。これが爲め感冒に罹らしめるのみならず、子供を神經質にする。常に風呂に入れてゐる子供ならば、敢て冷水摩擦や水浴等をさせる必要はないと思ふ。

子供を戶外に出すことは病氣でないものは、なるべく實行するが良い。けれども虛弱な子供や、嬰兒はそれが爲めに病氣を起すことが多いから、殊に注意すべきである。天氣の良い日ならば良いけれども、風のある日に、三歲以下の子供を戶外に出すことは、絕對に禁物である。親の虛榮心を滿足せしむるが爲に、寒い日でも構はず宮詣などゝいつて、嬰兒を寒風に曝すことは愚の極である。以上は甚だ退嬰主義のやうであるが、併も殊に子供にはこれが最も安全な道であらうと思ふ。

吸入と濕布と氷と

に就いて一言するならば、吸入はつとめてこれを行ふが良い。併しその場合注意すべきは、吸入はあの蒸氣を吸入するためのものではあるが、あまり口に近づけてするは惡い。一尺五寸乃至二尺位の距離を置いて行ふべきである。　又吸入器の取扱には常に

注意しなければならない。湯を多く入れた爲めに容器から熱湯が迸出したり、又は「アルコホルランプ」を顚覆させた爲めに患者や看護婦が不慮の火傷をした例は非常に多いのである。

濕布は皮膚血液の循環を良好ならしめて、内部の器官の血行を良好にせんとするものであつて、身體より出る熱が濕布の爲めに外に發散することを防止し、隨つて濕布と皮膚との間が溫くなり、爲めに皮膚の血行を盛にしてこの目的を達せんとするものである。だからこの目的からいふと、水以外の種々のもの、例へば酒、「アルコホル」の樣なものは、あまり效果はないのである。而して濕布は餘り度々取りかへては、却て無意味である。先づ乾いたら取りかへる位が適度である。又取りかへる時には濕布を取り去つた後を乾いた布でよく拭ひ、その上に天華粉か「シッカロール」の如きものを撒布して、よく乾かした上で、次の濕布を施すべきである。かくすれば屢々惱ませられる所謂濕布「カブレ」が容易に出ないやうである。普通一週間で出るものなら、かうすれば二週間經つても出ないのである。次に氷の用は、先づ氷の濫用を愼むことである。小さい子供に寒氣がする時でも、その身體より大きな程の

氷を頭にも胸にも置いて安心してゐるのを屢々見るが、笑止の至りである。大人は熱がある時氷をつけると快感を感ずる、これは大人にあつては熱が頭痛を伴ふからである。けれども子供には頭痛の伴ふことは滅多にないのであるから、子供が好まないのに氷をつけるのは惡い。西洋では主として食物を蓄へる爲めに用ひる氷を日本では病氣の時に主として用ひる。これは氷の濫用といふべきであらう。それが爲め子供は生活機能を惡くし、惡寒を催し、又は催さなくとも、惡寒を喚び起すやうになる。そこで氷はもし肺炎の場合などに、心臟の位置に少しおく位にすべきである。

以上は極く大體に亙りて冬期に於ける小兒の衞生に就いて述べたのであるが、病氣に罹つた後は醫師

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とよく相談して、夫々適當の處置をとるべきは勿論である。

育兒問答

醫學士　竹内薫兵

竹内學士が曾て百餘名の人の育兒上の質疑に應答せられたことがある、今その内の主要なるものを選出して茲に掲げます。（編者）

育兒問答の質疑を受けるには質疑者から特に左の四項を書き加へて頂きました。

一、その御兒さんは生れてから凡そ九個月頃まで何で育つたか、その品の名

二、その御兒さんは胎内に十月居りましたか、その月の數

三、その御兒さんの兩親は血族結婚ですか、さうではないか

四、その御兒さんの年齡又は何ケ月

一、歩くのが後れる子供

問　私の初めての子で今月で丁度一個年と二個月になりますが、まだ獨り歩るき致しません、初めから私の乳ばかりで育て、外に身體にどこも惡い所は見えませんが、何故まだ歩かないのでせう。近所の車夫の子は、私の子より二個月遲れて生まれましたのに、誕生になりましたら、直ぐ歩るき初めました。尤も私共夫婦は他人同志の緣組で、此子は十個月私の胎内に居りました。

答　子供の獨り歩きは十五個月卽ち生れてから一年と三個月目に初めるのが普通でありますが、子供により早い遲いがあります。子供をあまり構はないで放置て置きますと、早く歩くやうになり、あまり手の屆く家の子は遲く歩るき初めます。御近所の車夫の家は人手が足りないので、始終子供を放り勝ちなのでせう。從て子供は自分で動くやうになり、あなたの家庭は手が屆くので子供は自ら動く必要の無いために未だ御歩るきにならないのでありませう。こ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れは丁度金持の息子は依賴心のみで自治の道を知らないに引き換へ、貧民の子は却て克己心自治心が强く、金持の子よりも早く世に活動する事が出來るといふ一つの喩のやうに思はれて面白い現象であります。然し御安心なさい、御兒さんはこの一兩月の間に必ず獨り歩るきの出來るやうになります。

二、小便の繁い子供

問　今年七歲になつた男兒で怜悧な生れ付きですが、近頃十日ばかり前から、日中は何度となく小便に行き、夜中も三四回は參ります。熱もなく、外に少しも變つた點は見えませんが、どうかしたのでせうか。小さい時は母親の乳で育て、月も滿ちて生れ、兩親は他人同志の緣組です。

答　兩親が神經質で、その遺傳を受けた子供には時とすると尿意頻數症といふ病を起す事がある。その年齡は幼稚園時代が一番多い。御問の樣な狀態で尿に少しも惡るい物が含まれて居るのでなく、唯小便の數が多くなる病です。それが原因で外に餘病を起す憂はありません、暫時すると治る病ですが、醫治を乞へば尙ほ安心でせう。

三、間食ばかりする子供

問　今年七歲の子供、間食ばかりして三度三度の食物は何も喰べませんで困ります。兩親は血族結婚ではなく、お產も平產、少い間は母親の乳。

答　これは母親の少しの注意で癒ります。唯だ間食を廢すばかりでよろしいのです。一體間食をすれば、ほんの煎餅一枚でも、ずつと食慾を減らして食事時に食べやうといふ氣にならないものです。それが少し時經つと、丁度食事と食事、その間の頃に又お腹が空いて來ますから『母樣何か頂戴』といふ。そこで又母親が間食を與へると、今度はその次の食事時にも食べないやうになる。つまり、食事時に食事をしないために間食をしたくなり、間食をする結果普通の時は食事をしない樣になる。間食と食慾不振といふ事は互に原因結果を爲す事となるのです。それ故子供の間食は全く廢し、何か食物を與へる時には必

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ず食後直ぐに限ると御定めなさい。間食ばかりする子供は外の子供よりも、ずつと弱くなつて、絶えず病氣に罹り易くなるものですから、間食位といつて馬鹿にはなりません。その上努めて外出させる事とすれば更に好結果を得ませう。

雜報



○大正衞生博覽會

我國の衞生思想の普及發達を圖らん爲め此程開催した兩國國技館の大正衞生博覽會は其規模の上に於て將た內容の充實の上に於て未だ曾てあらざる整頓したもので、帝國大學醫學部各教室の出品を始め北里研究所、赤十字社、慈惠會其他海軍省、陸軍省の兩醫務局、內務省、農商務省、鐵道省及び各醫事衞生會の團體等出品點約五千に達し、全國各府縣の衞生會、衞生教育品製作所、衞生普及會等の研究標本は一萬點以上の多數に上り、一々親切なる說明を附し女でも子供でも解り易く、行き屆いたやり方は從來の博覽會、展覽會に比べて特長のある所である。開會以來まだ十日も經たぬに小學兒童の觀覽者ばかりでも十萬以上に上り、其他普通觀覽者は元より軍人なども非常に多く盛會を極めて居る、今其重なる施設を聞くに、

△通俗衞生學校　會場內に毎日通俗的に一般衞生學に關し不老長壽の道を何人にも解り易く講義があるが講演者は孰れも斯界の大家で他では賴むでも來てくれない樣な先生ばかりである。

△通俗衞生講演　同會講堂で博士の方々が衞生上の通俗講演を開かれて居るが、毎回聽衆は一パイで非常なる盛況である。

△健康相談所　毎週火木土午後一時から男子、婦人、小兒等に分けて其れ〲專門の博士方が無料で診察をせられます。口腔診察は毎日午後一時から無料で

診察することになつてゐる。

△懸賞募集　同會では衛生上の普及を圖る爲めに衛生の唱歌を全國一般に募り、衛生上の感想文を小學兒童から千二百圓の懸賞で募集してゐる。續々應募者があるが發表の曉には我國の現代衛生思想の程度が窺はれることゝ思ふ。

△衛生新聞　會場内では衛生新聞を發行して無料で觀覽者に配附して居るが、是れ等も面白い趣向である。

△普及デー　同會では一日、十五日、二十八日の三日間は普及デーとして誰でも二十錢均一で見せるそうである。

△會場案内圖　入場者には全部場内の觀覽順序を圖解したものを印刷して無料で配附して居るが、あの廣い場内を觀覽するのに非常に便宜である。

△記念繪葉書　場内で記念繪葉書を發行して居るが、陳列品の大體が窺はれるから最も便宜な記念品である。

△場内に本所郵便局から郵便函を設置して觀覽者の便に供してある。

△活動寫眞　結核豫防協會から寄贈してゐる衛生に關する活動寫眞は他の娯樂的活動寫眞とは違つて國民一般の如何しても見て置かねばならぬもので、之れを無料で見せるのは同會の本領が窺はれて誠に結構のことであると思はれた。

△其他の餘興　餘興場は新に設備せられた長壽園の傍に大圓形を畫いたもので、東洋一の技藝大會柿岡一行の大曲馬術を始め奇術、曲藝、ダンス其他の面白いものを終日無料で見せて居る。觀覽者は朝から晩まで此樂しい所で家庭的に喜んで見てゐる有樣で、之れだけでも衛生博覽會の値うちが有るやうに思はれた。

會報

○大正十年新年初例會

一月二十九日(土曜)午後一時半より

神田區一ッ橋通町共立女子職業學校に於て開催(但し婦人修養倶樂部と合同)

講演　現代の思潮と婦人の覺悟　文學博士　吉田靜致氏

餘興　筑前琵琶　豊田旭穰

講談　坂本富岳

茶菓の饗應　歡談の後五時閉會

出席者總數千餘名(役員會員生徒等)

出席役員

會長　鍋島侯爵夫人榮子

副會長　濱尾男爵夫人作子

理事　鳩山春子　長谷川仲子　岡田德子

高木鐐子　山本多穗子　天野たき子

評議員　緒方悦子　小川孝子　吉岡彌生子

田村きよ子　山口貞子　相磯正子

菊池みね子　三宮ふじ子　宮本米子

瀨川さわ子　(以上いろは順)

○當日寄附

一金拾圓也　侯爵夫人　鍋島榮子

一金五圓也　男爵夫人　濱尾作子

○入會者

○事務所申込み

神田區通新石町十七　通常會員　山本するゑ子

岡山縣倉敷町　倉敷醫學圖書館

○轉居

神戶市より長崎市出來大工町三菱社宅へ　飯田和香子

四谷區より牛込區宮久町一二五へ　小瀨よし子

○新潟支會入會者

○中村しげ子紹介

通常會員　小出チカ子

同　江川スイ子

以上

私立大日本婦人衛生會役員氏名

總裁 東伏見宮妃周子殿下

會長 侯爵夫人 鍋島榮子

副會長 男爵夫人 濱尾作子

（いろは順）

理事 鳩山春子

同 岡田徳子

同 男爵夫人 山本多穗子

同 三浦敬子

評議員 入澤常子

同 服部繁子

同 子爵母堂 仁禮壽賀子

同 土肥多越子

同 岡山とし子

同 加藤鈴子

同 男爵母堂 吉岡彌生子

同 高橋孝子

同 男爵夫人 南部隈子

同 山口貞子

同 子爵母堂 松井正子

同 小松勇子

同 男爵母堂 青山孝子

同 岸澄子

同 三宅藤子

同 守屋千代子

同 長谷川仲子

同 高木鑠子

同 天野多喜子

同 羽田三緒子

同 原光子

同 男爵母堂 西外子

同 緒方悦子

同 小川孝子

同 片山龜子

同 丹波貞子

同 田村きよ子

同 中濱芳子

同 松平芳子

同 男爵夫人 古市幸子

同 近藤滋子

同 相磯まさ子

同 菊池米子

同 宮本樂子

同 瀨川さわ子

大正十年三月二十二日印刷

大正十年三月二十五日發行

東京市本郷區駒込千駄木町五十八番地
編輯者兼發行者 莊司秋次郎

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷者 柴山則常

東京市本郷區駒込林町百七十二番地
印刷所 合資會社 杏林舍

東京市本郷區駒込千駄木町五十番地
發行所 私立大日本婦人衛生會事務所
（振替東京一〇六〇〇番）

賣捌所

東京市本郷區龍岡町 吐鳳堂　京都市寺町二條南入 若林茂一郎

同市銀座四丁目 東海堂　東京日本橋區吳服町 北隆館

同市京橋區鎗屋町 貝明堂　同市神田區表神保町 東京堂

同市本郷區本富士町 明文館　同市本郷區本富士町 盛春堂

同市同區春木町 南江堂支店　名古屋市榮町六丁目 丸善書店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN


胃腸新劑
タカヂアスターゼ
工學博士
藥學博士
高峰讓吉氏發見
强度優越
効力不變
澱粉不消化に起因する胃腸疾患に應用して卓効を奏するタカヂアスターゼは、更に脂肪の消化吸收をも容易ならしむる事を發見せられて以來、愈々
完全なる消化劑
こして學會に承認せらるゝに至れり、故に本劑を服用する時は食慾を增進し、營養を佳良ならしめ、體量を增加す、而して本品を結核患者に應用するは消化吸收を良好ならしめ營養を增進するが故なり。
▲類似品を厳し特にタカヂアスターゼと御指定を乞ふ
▲說明書あり御申越次第進呈す
東京室町
三共株式會社
TAKA-DIASTASE
タカヂアスターゼ
100 TABLETS